

産学連携で共同研究

有明 高専 商品化や人材育成図る

大牟田

大牟田市東萩尾町の有明工業高等専門学校(江崎尚和校長)は、同校第2号となる産学連携マッチングラボ「センシングモジュール統合設計ラボ」を設立した。2日に同校で記念セレモニーが行われ、関係者約15人が参加。企業との共同研究を進め、実社会で活躍できる統括的な知識を持った人材の育成を目指す。

同校は地域共同テクノセ

仕組みとして「マッチング

センターの新しい産学連携の



マッチングラボ設立を記念して行われたセレモニー

間の共同実験・検証を行う。今回は佐賀県吉野ヶ里町の佐賀エレクトロニクスと協働。契約額は2年間で650万円。

ラボでは同社が持つ静電

気測定ノウハウを活用し、商品化を視野に入れた表面電位センサを開発。学校で学んだ専門知識を応用したセンシングモジュール統合設計を行い、複合分野の知識をもつ人材を育成する。

セレモニーでは江崎校長

と同社の林力代表取締役社

長がパネルを設置。「自分た

ちだけでは足りないところ

を先生や生徒と一緒に良い